
二百文字小説 【差し向かい～晩夏・三日月・杯】

中川京人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

二百文字小説 【差し向かい】晩夏・三日月・杯】

【Nコード】

N1820W

【作者名】

中川京人

【あらすじ】

ラーさんの氏の活動報告で、「二百文字小説企画【E.S】」というのを知りまして、勝手に真似をしてみました。はじめての200文字です。

(前書き)

「晩夏の三日月を見上げ杯を交わす二人」というシチュエーション
だそうです。

弟と飲むのは、あの事故以来半年ぶりだ。

遅い夏の空気が、民宿の縁台をゆったりと舐める。

杯が満ちる寸前に弟が口を開いた。

「月が出てるな」

「わかるのか」

「わかる。それも三日月だ」

「当りだ」

この方角かな、と言って弟は肩をひねった。

よくわかるな、と私は応じた。それがやっとなんだった。

「だから兄貴。もういいよ。俺は見えるも同然だ」

そうだな……。

私は弟の示した空をもう一度睨んだ。

あの空にも三日月が昇ることを祈って。

(後書き)

200文字、六ヶ敷もんですなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1820w/>

二百文字小説 【差し向かい～晩夏・三日月・杯】

2011年10月9日15時22分発行